

協働によるまちづくりの推進を目指して

山田 繁子 議員

住みたい、住み続けたいまちづくり
問1 桂山池を市民の憩いの場に。

桂山の池は約4、461坪、両総用水東部幹線の用水農業用ため池であると伺っています。冬場、草が枯れている時は近くに住んでいる住民の散歩コースとしての憩いの場となっている。池の広さ、立地条件や環境等、本市に数少ない市有地。

市民の憩いの場としての小中池公園とは違った面でのウォーキングや、ちよっとした休憩ができるような設備のある自然公園としての取組みはいかがか。

答 現在、桂山池は池底に砂が堆積し、水深が浅くなっている事から雑草が繁茂しアオコや害虫が発生して、環境の悪化につながっている。今年度は地元桂山環境保全会の方々が北側部分の池のガマの穂や、ヨシの除去等を行っていく。市としては、木柵土留めによる土砂の流出防止等を行う活動を支援する考えである。今後の活動につきましても草花の植栽等、また未利用地の活用を検討していくと聞いている。環境保全会と連携を図りながら進めていく。

問2 大網白里市の外国籍の施策について、本市に住む外国籍の方は県内市町村のうち28番目に多く24年12月時点において539名の方が住んでいる。

①本市における外国籍住民に対する施策について、どのような対応が図られているか。②「地域における多文化共生推進プラン」について、総務省が策定した指針、地域における多文化共生推進プランは都道府県に通達後管内市町村に通知することになっていくが知られているか。同通達では市町村は都道府県との役割分担を明確にしたうえで外国籍住民を支援するための取組みを行う事になっているが指針、計画は策定しているのか。今後本市の国際化に向けての取組みとして国際交流協会等国際知識の豊かな方々と連携を深めた中で心配事相談や日常生活に必要なアドバイスをして頂ける、又災害時暮らせる住民サービスの向上を。

答 総務省の策定した指針について、現時点では知している。本市においては、現在指針・計画は策定されていない。今後多文化共生推進プラン策定に向けて、情報等について収集整理していきたい。災害対応等の周知については、国際交流協会等と連携を図り外国語のパンフレット等を検討していく。多文化共生の推進を計画的かつ総合的に実施できるように努めてまいりたい。

問3 防災の担い手を目指した防災教育について。子供防災サミットの開催取組みについて。

答 各学校の代表と市長の懇談会でテーマを防災に絞って子供防災サミットの開催については、今後の課題としたい。

その他、地元の自治会館・青年館・公民館を防災の子拠点の役割を担う取組みについて質問させて頂きました。



桂山池

改 革 7

大野 英雄 議員

1. 大網駅周辺の整備について

問 約束した構想図は出来たか？
答 都市整備課長 年度末に構想図を作成した。大網駅南口の公共交通、朝夕の渋滞解消、商業業務施設の確保、小中川を活用した親和性の高い緑地空間を配置する立体的イメージ図を作成した。

問 駅南側整備の公約をどう考えるか？
市長 構想図を叩き台として、関係機関、住民と整備計画の検討を進める。

問 図書館の民営化について
市長 構想図を叩き台として、関係機関、住民と整備計画の検討を進める。

問 市内3か所の図書室利用者数？
生涯学習課長 大網は51、989人、中部は27、221人、白里は13、322人で減少傾向だ。幼児向けのお話し会、こども映画会、一般向け歴史講座など開催している。

問 武雄市図書館はスターバックス、ツタヤの導入で既に前年度比4.7倍だ、民営化をどう考えるか？
生涯学習課長 今後も十分時間をかけて、武雄市など先進市の事例を調査研究する。

問 職員への動機付けはしているか？
市長 研修会や講習会、出前講座の実施により協働事業に取り組んでいる。庁内各課を回り声をかけている。

問 キックオフイベントに採択された団体に関係する課は出席しているか？
地域づくり課 参加者92名、職員15名、採択された全ての課は出席していない。

問 幼稚園、保育園の実態は充足か？
管理課長 25年の入園希望者は376名、

近隣市内の幼稚園に通園している園児は33名で、受け入れは可能である。子育て支援課長 認可保育所は公立3、私立3、定員は552名。4月1日現在、入所児童数は491名で足りている。

問 英語教育の必要性について
答 現在は実施していない。今後の研究課題とさせていただきたい。

問 駅前整備について
問 駅ロタリーの街路灯の撤去を前触れもなくやっている。市は山武士木事務所と連携しているのか？
財政課長 人事異動により、市への連絡が遅れたことを詫言っている。照明灯の腐食が激しいことで、工事した。

問 駅周辺に自転車の放置が目立つ。市からよけいな仕事をしないように指導されていると聞かすが本当か？
安全対策課長 委託先のシルバー人材センターとの定期的な会議の中で改めて協議、検討するように対応する。

問 事務報告について
市長 平成24年度に予定していた予算計上事業は概ね達成できたと評価している。

問 市になって、付き合いは従来の町役場から、更に広げる考えはあるか？
市長 千葉県市長会に加入し、近隣の市長と親しくさせてもらっている。市になった今だからこそ、更に積極的に他市長と連携を図っていきたい。

問 図書館が街を創る。
武雄市図書館という挑戦
Change The Town City Library

図書室の充実を！

福祉・防災のまちづくりを目指して

上家 初枝 議員

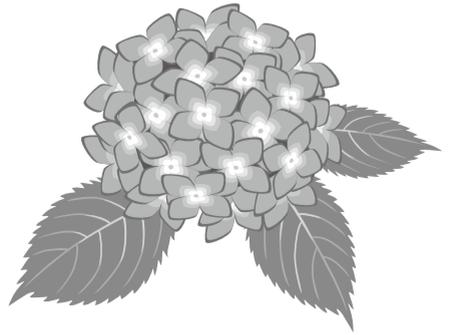
1. 子育て支援について

問 少子化や核家族化、兄弟や隣近所の異年齢での交流、祖父母など多世代の交流の場が少なくなりました。子どもの居場所づくりとして児童館の設置が必要と考えます。ご見解を伺います。
子育て支援課長 児童の健全育成を指す手立てとして、重要施策の一つと認識しております。今年度から住民協働事業の「児童館設立プロジェクト」と一緒に中部コミュニティセンターを会場とした出前「ゆめの木」を開催、当面はこの事業の発展と既存施設の有効利用、関連施設への併設なども含めて常設の児童館について検討を進めてまいりたいと考えております。

2. 生活支援について
問 白里地域の交通手段について現在の進捗状況を伺います。市内公共施設へのアクセスも含めてお聞かせ下さい。
企画政策課長 白里地域での意見集約をしたところ、利用者は乗り換えなしで大網駅・大網病院・大型ショッピングモールへ出かけたという要望が多く挙げられており、事業者との話し合いを進めた結果、現在運行しているバス路線の路線延長という形で南側の細草・四天木、北側の北今泉地区それぞれに一日2往復、合計4往復を増便することで概ね了承されており、運行はこの秋ぐらいに思っております。

問 料金設定は距離制と聞きますが都市部では均一料金のところも多く、市の独自負担も含め見直しを求めます。
企画政策課長 特定路線だけの運賃形態を変えるのは非常に難しく、トータル的に運賃形態については、今後事業者に要望してまいりたいと考えます。

問 運転免許を返還される高齢者や、



一人で移動可能な高齢者の生活支援として「シルバーバス」の導入を提案致します。ご見解をお聞かせ下さい。
高齢者支援課長 本市では、高齢者の外出機会を創出し、社会参加に繋げていくことが重要であると認識しており、「シルバーバス」導入については今後の検討課題とさせて頂きま

問 高齢者の食の提供、安否確認にもつながる配食サービスの復活を提案致します。ご見解をお聞かせ下さい。
高齢者支援課長 日常生活におきまして、食事作りが困難な方に対して栄養面を考慮した食事提供、また安否確認を行うことを目的とした配食サービスで今後需要や要望等の実態を把握し、導入について検討したいと考えます。

3. 道の駅について
問 本市における道の駅計画、その費用対効果について伺います。
産業振興課長 市内の商業や水産業等の関係団体や、地域代表者、公募委員、関係機関の推薦者からなる道の駅基本計画検討委員会を平成24年度に立ち上げ、検討をしてきました。建設費などの総額は5〜7億円程度。年間売上3億3千万円、年間利用者数25万1千人を見込み、本市の特徴を生かした道の駅づくりを目指します。